

# 学習課題（小学校6年生）



【国語】計画を立てて、少しずつ取り組んでいきましょう。

<内容>

◆「たのしみは」（教科書 60～63 ページ）に取り組めます。

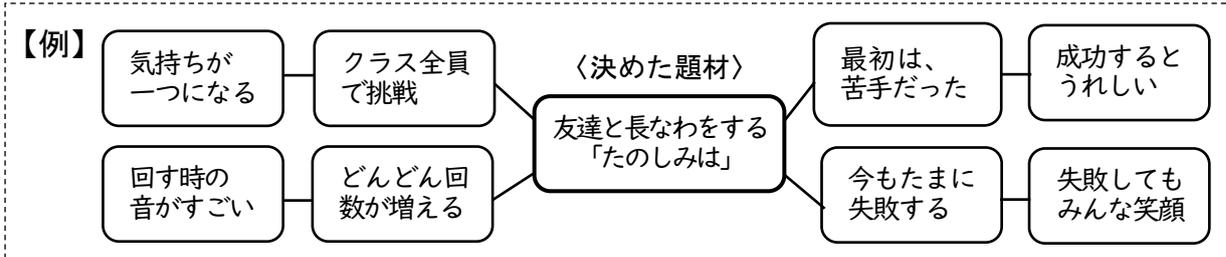
- (1) 教科書 61 ページにある たちばなあけみ 橘 曙覧の短歌を読みます。
- (2) 自分の生活の中の様々な場面から、自分が「たのしみ」だと感じることを探して、短歌にしたい場面を決めます。

①61 ページ【題材の例】や、右にある【題材の例2】を参考にして、どの場面の「たのしみ」を題材にするかを決めます。

【題材の例2】

- ・ 休日の過ごし方のこと
- ・ 習い事のこと
- ・ 5年生で行った行事のこと

②決めた題材を中心にして、その時の様子や気持ちをよく思い出し、下の例のようにノートや取組シートに書きましょう。



(3) 思い出した気持ちや様子を基にして、「たのしみは」から始まる自分の「たのしみ短歌」を作ってノートや取組シートに書きます。

(4) 右の2つの短歌を読み比べて、Bから「別の言葉への言い換え」、「音を表す言葉」、「並び替え」の工夫を探してノートや取組シートに書きます。

たのしみは  
ビュンビュン風切り  
飛び上がり  
友と笑顔で  
縄回す時

<B>

たのしみは  
休み時間に  
友達と  
グラウンドに出て  
縄跳びする時

<A>

(5) Bから探した工夫を基に、(3)で作った自分の「たのしみ短歌」を見直して、完成版をノートや取組シートに書きましょう。

◆「文の組み立て」で学習する予定の新出漢字（「警」～「訳」）を練習します。（読み方や書き順などは、299～300 ページに載っています。）

<保護者による関わり方のポイント> ※可能な範囲でお願いします。

- ・(2)で題材を決められず困っている場合には、61 ページやこの課題で示している【題材の例】を基にして、「たのしみだ」と感じることを一緒に探してあげてください。